

第4回 河北町立小学校のあり方検討委員会

日時 令和5年6月9日（金）
午後6時～

場所 河北町役場
3階 301会議室

次 第

～委嘱状交付～

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員長あいさつ
- 4 報告

第3回検討委員会の記録について

- 5 協 議

「河北町の子どもたちにとってどのような学校を」

- 6 まとめ
- 7 今後のスケジュール
- 8 その他
- 9 閉 会



河北町立小学校のあり方について

第4回検討委員会

<本日の流れ>

- 1 報告 第3回検討委員会の記録について
- 2 協議
「河北町の子どもたちにとってどのような学校を」
- 3 今後のスケジュール



報告

(1) 第 3 回 検 討 委 員 会 の 記 録 に つ い て



第3回検討委員会の記録について①

<目指す子ども像>

- 自力で解決できる子ども
- 自立できる子ども（社会人基礎力）
- どんな場面でも力を発揮できる子ども
- 故郷を愛する子ども

<目指す教育環境>

- 多様化に対応した学校
- 子どもの実態に合わせた指導体制
- 切磋琢磨できる環境（クラス替え）
- 安心・安全な学校
- 安定した教職員集団の確保
- 文化を保存・継承していくための地域との交流



第3回検討委員会の記録について②

<現状と課題>

- ・子どもが減少することで、できないことが多くなる
- ・子どもの安全を守るためにも適正規模の考えは大事
- ・地域と学校とのつながりをどのように補うか
- ・集団への適応が心配
- ・子どもへの支援体制の構築
- ・先生方の専門性、授業力の向上
- ・財政面について

第3回検討委員会を受けて

【町民への周知】

○3月31日 アンケート結果、地区懇談会【概要版】をHPに掲載

○広報 かほく（4月15日号）アンケート結果【概要版】に掲載



2 協 議

<テーマ>

「河北町の子どもたちにとってどのような学校を」



現状維持の場合

<現在の状況>

- ・ 学校の特色を生かした教育活動が展開できる
- ・ 地域、学校の交流を密に展開できる

<今後、さらに起こりうる状況>

- ・ 子どもの数の減少による、教育活動の制限
- ・ 教職員定数の減による、一人当たりの業務量の増加
- ・ 研修機会の減少
- ・ P T A 活動の体制維持
- ・ 持続可能な地域との協力体制の維持
- ・ 財政面（維持管理費等）の負担が継続
- ・ 幼稚園、こども園からの就学にかかる友人関係の変化



段階的統合の場合

<期待される効果>

- 多様な人間関係、切磋琢磨の教育環境
- 複数の教職員による多層的な支援体制（生徒指導・学習指導）
- 既存する校舎の活用が可能
- 教育資源の集中（人的・物的・財政）

<予想される検討事項>

- 何校にするのか、また、後に統合について再検討が必要
- 学校間連携（目指す子ども像の共有と実現に向けた取り組み）
- 地域とのつながり
- 集団への適応が心配（いじめ・不登校問題等）
- 通学の安全確保、学区の設定
- 校舎建築の場所の検討
- 幼稚園、こども園からの就学にかかる友人関係の変化



1校に統合の場合

<期待される効果>

- ・ 多様な人間関係、切磋琢磨の教育環境
- ・ 複数の教職員による多層的な支援体制（生徒指導・学習指導）
- ・ 安定した学校規模の確保
- ・ 教育資源の集中（人的・物的・財政）

<予想される検討事項>

- ・ 学校間連携（目指す子ども像の共有と実現に向けた取り組み）
- ・ 地域とのつながり
- ・ 集団への適応が心配（いじめ、不登校問題等）
- ・ 通学の安全確保
- ・ 校舎建築の場所の検討
- ・ 小中一貫校か義務教育学校か



これまでの動きから

- 特別支援学級部会研修会にて
講師：楯岡特別支援学校寒河江校 教諭
 - ・教員の専門性を高めていくこと
 - ・多層的な支援体制が求められること

- 河北町学校安全研修会にて
講師：寒河江警察署 生活安全課長・警備課長
 - ・学校安全体制の確保について
 - 教職員の数、施設の安全性、災害警戒区域

- べに花メールから
 - ・他市町からの転入
 - 実家が小規模校学区
 - 規模の大きい学校に学区変更できないか



参考資料

基準日：令和5年5月1日

		令和5年度						入学年度					
		6年	5年	4年	3年	2年	1年	R6	R7	R8	R9	R10	R11
A	西里小	22	11	14	10	18	10	10	3	6	9	4	6
	溝延小	12	9	15	7	12	14	14	6	9	5	8	1
	谷地南部小	33	19	27	25	24	28	23	22	21	25	23	24
	人数	67	39	56	42	54	52	47	31	36	39	35	31
	学級数	3	1	2	2	2	2	2	1	2	2	1	1
		特支3（知2・病1）											
B	谷地中部小	55	55	69	58	71	45	66	53	38	34	29	31
	谷地西部小	6	5	7	4	4	4	6	6	3	0	2	1
	北谷地小	17	10	10	11	7	7	7	4	6	3	6	6
	人数	78	70	86	73	82	56	79	63	47	37	37	38
	学級数	3	3	3	3	3	2	3	2	2	2	2	2
		特支4（知2・情2）											
1校	人数	145	109	142	115	136	108	126	94	83	76	72	69
	学級数	5	4	5	4	5	4	4	3	3	3	3	3
	1学級当たり	特支（知3・情3・病1）						31	31	27	25	24	23

学級数は教育山形さんさんプランによる。ただし特別支援学級は対象児童を把握できないため設定していない。



MEMO



3 今後のスケジュール

【開催予定】

- 第5回検討委員会（8月26日か27日の午前中）※町民参加型
- 第6回検討委員会（10月 6日）
- 第7回検討委員会（11月10日）